

## 第16回名古屋市アジア競技大会推進本部会議 次第

日 時：令和元年11月11日（月）幹部会終了後  
場 所：本庁舎2階 特別会議室

### ○ 開会

### ○ 議題

1 アジアパラ競技大会の開催に向けた検討状況及び今後の進め方について  
【資料1】

2 まちづくり調整会議構成員の追加について  
【資料2】

### ○ 報告事項

・大会スローガンの決定について  
【資料3】

・大会エンブレムの募集について  
【資料4】

・ASIAN GAMES NEWS（大会通信）vol.01について  
【別 添】

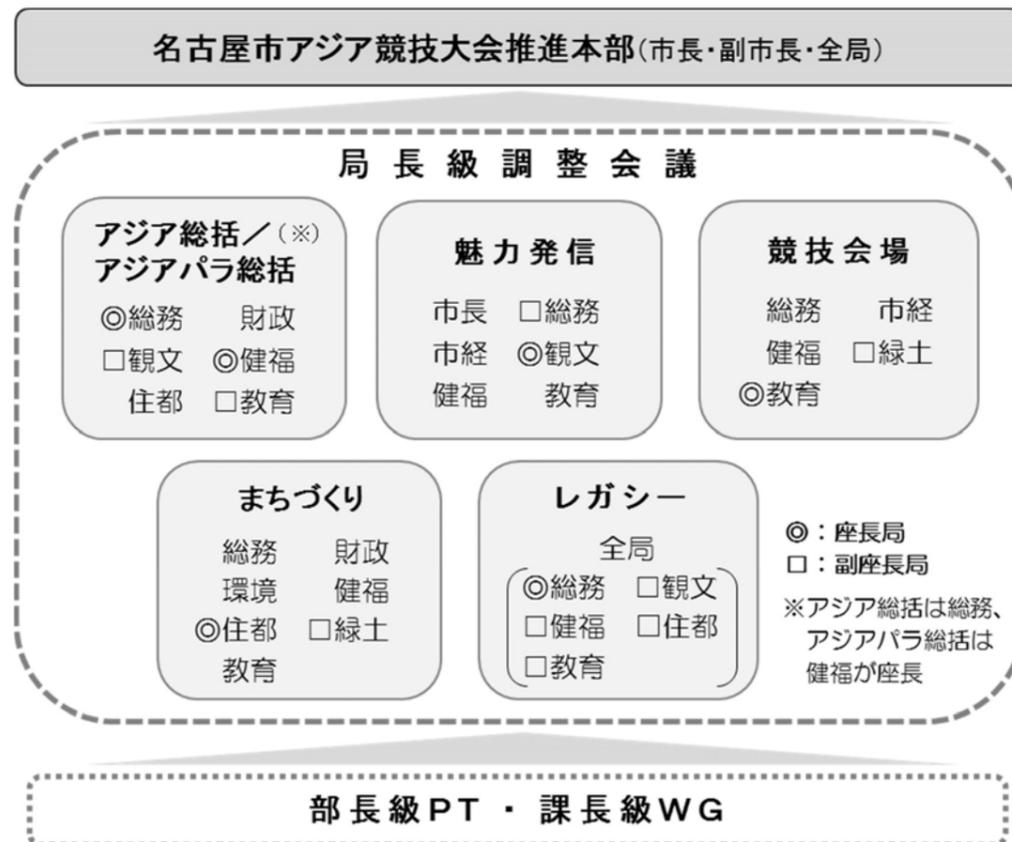
アジアパラ競技大会の開催に向けた検討状況及び今後の進め方について

1 現状と課題

(1) 現状

- ・本年1月の日本パラリンピック委員会（JPC）による開催要請と2月市会における本会議答弁を踏まえ、2026年のアジアパラ競技大会の開催に向けて、県市共同で検討を開始
- ・庁内検討体制を構築するとともに、アジア競技大会推進室において主幹以下3名（総務局と健康福祉局との兼務）体制で検討を実施

<参考：庁内検討体制（イメージ）>



(2) 大会開催に向けた主な課題

- ・想定競技及び競技会場の決定
- ・障害特性上からの配慮・調整
- ・開催都市契約の内容検討
- ・概算経費の把握
- ・県市負担割合の決定

2 大会開催に向けた課題の整理及び取り組み

取り組み 課題	令和元年度	令和2年度
想定競技及び競技会場の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内及び競技団体との調整</li> <li>・想定競技及び競技会場(素案)の提示(令和元年度下期)</li> <li>・想定競技会場におけるバリアフリー状況の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内及び競技団体との調整</li> <li>・想定競技及び競技会場(案)の提示(令和2年度上期)</li> <li>・想定競技及び競技会場の決定</li> </ul>
障害特性上からの配慮・調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者団体及び競技団体等からのヒアリング</li> <li>・大会に係るバリアフリー関連法令等の比較・整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者団体及び競技団体等からのヒアリング</li> <li>・大会に係るバリアフリー対応の検討</li> <li>・輸送・宿泊等、大会運営全般に係る検討</li> </ul>
開催都市契約の内容検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家を交えた内容精査</li> <li>・APC及びJPCとの協議・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家を交えた内容精査</li> <li>・APC及びJPCとの協議・調整</li> </ul>
概算経費の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定競技会場に係る仮設概算工事費の算出</li> <li>・過去大会や他大会等を基にした運営経費の試算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送・宿泊に係る検討等を踏まえ、令和元年度に把握した概算経費を精査</li> </ul>
県市負担割合の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県との協議開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県との協議</li> </ul>

これらの取り組み状況を踏まえ、開催表明について判断

3 大会を契機とした諸施策の推進

- ・障害者スポーツの振興
- ・障害者への理解の促進
- ・全ての人々が利用しやすい都市環境整備の促進

## 【参考資料】アジアパラ競技大会の概要及びこれまでの経緯

### 1 アジアパラ競技大会の概要

2010年に始まったアジア地域の障害者総合スポーツ大会であり、これまで中国・広州（2010年）、韓国・仁川（2014年）、インドネシア・ジャカルタ（2018年）で開催しており、2022年には中国・杭州で開催予定

区 分	内 容
主 催 者	アジアパラリンピック委員会（APC）
開催時期	4年に一度（夏季パラリンピック競技大会の中間年）
開催期間	開閉会式を含め7～8日間（過去大会実績による）
参 加	APC加盟43か国・地域から選手・コーチ等約4,000人

### 2 これまでの経緯

年 月 日	内 容
2019年	
1月15日	日本パラリンピック委員会（JPC）会長・副委員長等が知事・市長を表敬し、開催要請
3月1日	2月市会・自民党代表質問でアジアパラ競技大会の開催に向けて答弁
6月14日	6月市会に補正予算を上程（7月1日可決）
7月10日	アジアパラ競技大会に係る企画調整のため、専任体制（3名）を構築
7月19日	ジャパンパラ陸上競技大会を視察 （以降、他大会の視察・調査等を通じて情報収集を実施）
8月5日	開催可能性検討調査を開始
10月1日	専門家を交えて開催都市契約の内容精査に着手



## まちづくり調整会議構成員の追加について

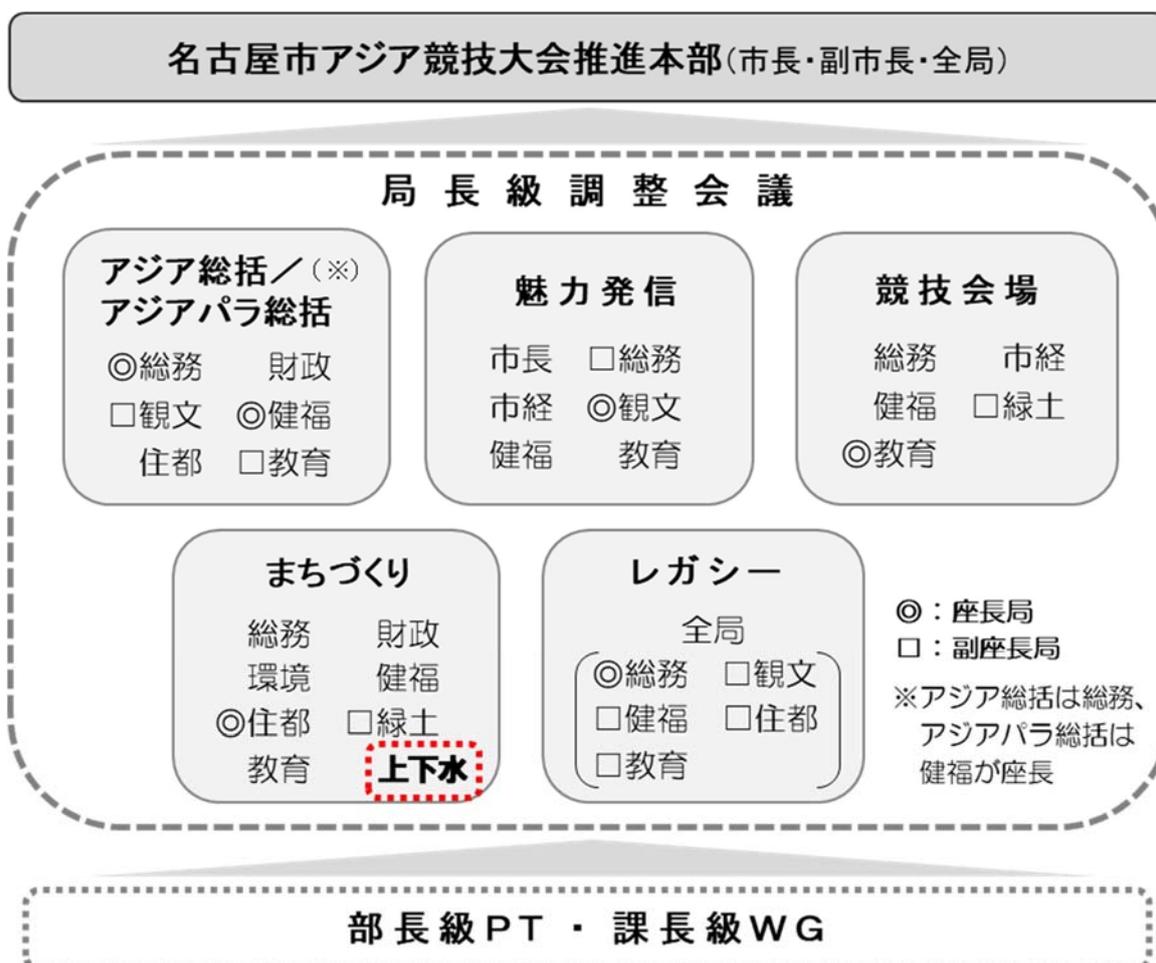
### 1 趣旨

第20回アジア競技大会のメイン選手村である名古屋競馬場（港区）跡地のまちづくりに関して検討を行うためのまちづくり調整会議（座長：住宅都市局長）について、上下水道局長を構成員として追加するもの

### 2 理由（考え方）

- ・まちづくりの観点として、災害対応の防災面も重要であること
- ・行政が導入すべき機能として、名古屋競馬場跡地周辺の浸水被害状況を踏まえて、跡地周辺を含めた浸水対策として雨水貯留施設を下水道管理者である上下水道局とともに整備することを検討中であること
- ・雨水貯留施設整備の実現に向けて、引き続き、上下水道局と共同して検討を進める予定であること

参考：変更後の推進体制（イメージ）





## 大会スローガンの決定について

第20回アジア競技大会のスローガンは、以下のとおりとする。

**IMAGINE ONE ASIA**  
ここで、ひとつに。

※現在商標出願中

## 【趣旨】

スポーツには、言語や文化、国境を越えて、人々を結びつける力があります。

愛知・名古屋2026大会では、スポーツが持つこの力を活かし、さらには、多様化が進む社会に生きる私たちひとりひとりが、それぞれの「ONE ASIA」を想像（IMAGINE）することで、絆を深め、未来へ向かって進んでいけるようにとの願いを込めたものです。

また、選手、ボランティア、観客など大会に関わる人々が、様々な時間や空間、体験や感動を共有し、ひとつになっていこうという思いも込めました。

## 【スローガン制作者】

坂本 さかもと 和加 わか コピーライター／合同会社コトリ社代表

## 【選定について】

第20回アジア競技大会スローガン選定委員会（以下の有識者5名により構成）による2回の審査を経て、最終候補を選定し、本日（10月18日（金））の第3回理事会にて決定

(敬称略／委員は五十音順)

役職名	氏名	所属等
委員長	廣村 正彰	廣村デザイン事務所代表／グラフィックデザイナー
委員	北川 啓介	名古屋工業大学大学院工学研究科教授／建築学者
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学学長／宣伝会議取締役副社長
委員	福里 真一	クリエイティブディレクター／ワンスカイ所属
委員	矢野きよ実	パーソナリティー／書道家



令和元年10月18日  
(記者提供資料)

## 大会エンブレムの募集について

第20回アジア競技大会のエンブレムの募集については、以下のとおりとする。

## 【募集期間】

2019年10月19日(土) 正午～11月20日(水) 正午

## 【応募資格等】

年齢	制限なし(2019年4月1日時点で18歳未満の方は、保護者の同意が必要)
国籍等	日本国籍の方または日本在住の方(日本国内の住民票をお持ちの方)
グループ参加	可能
経験・受賞歴	不問
応募点数	1人(1グループ) 3点まで

## 【応募方法】

エンブレムデザイン募集サイトの専用フォームより応募  
(URL <https://www.ag2026-emblem.org>)



エンブレムデザイン募集サイト

## 【選 定】

第20回アジア競技大会エンブレム選定委員会(以下の5名により構成)による複数回の審査を経て選定

(敬称略/委員は五十音順)

役職名	氏 名	所属等
委員長	廣村 正彰	廣村デザイン事務所代表/グラフィックデザイナー
委 員	北川 啓介	名古屋工業大学大学院工学研究科教授/建築学者
委 員	田中 里沙	事業構想大学院大学学長/宣伝会議取締役副社長
委 員	森本 千絵	goen° 主宰/コミュニケーションディレクター/アートディレクター
委 員	矢野きよ実	パーソナリティー/書道家

## 【意見募集】

最終の選定委員会の前に、絞り込んだ5案程度を公表し、2週間程度、広く意見募集を実施

## 【最終決定】

2020年3月開催予定の組織委員会理事会において決定

## 【採用作品賞金(1点)】

50万円(税込)



## アジア最大のスポーツの祭典を象徴するスローガンが決定!



陸上競技 男子4×100mリレー 金メダル  
(山縣亮太、多田修平、桐生祥秀、ケンブリッジ飛鳥)



開会式



水泳(競泳) 女子400m個人メドレー 金メダル  
(大橋悠依)

第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)スローガン

# IMAGINE ONE ASIA

## ここで、ひとつに。

スポーツには、言語や文化、国境を越えて、人々を結びつける力があります。愛知・名古屋2026大会では、スポーツが持つこの力を活かし、さらには、多様化が進む社会に生きる私たちひとりひとりが、それぞれの「ONE ASIA」を想像(IMAGINE)することで、絆を深め、未来へ向かって進んでいけるようにとの願いを込めたものです。また、選手、ボランティア、観客など大会に関わる人々が、様々な時間や空間、体験や感動を共有し、ひとつになっていこうという思いも込めました。



### スローガン制作者 坂本和加さんからのコメント

モノもコトもどんどん多様化する、複雑な時代に生きている私たちが「しぜんと、ひとつになる」。スポーツの、その不思議な力を借りて、ひとりひとりがワンアジアをイメージできるように。言葉や人種にとらわれない大きな概念が言葉の翼をもつよう願いを込めました。

profile: コピーライター/合同会社コトリ社代表。主な作品に、「WAON(イオンの電子マネー)」「行くぜ、東北。(JR東日本)」など、多数の企業のキャッチコピーやスローガン、ネーミングを手がけている。



記者発表の様子(2019年10月18日)

### 第20回アジア競技大会スローガン選定委員会選定委員

[選定委員長] 廣村 正彰(廣村デザイン事務所代表/グラフィックデザイナー)

[選定委員(五十音順)] 北川 啓介(名古屋工業大学大学院工学研究科教授/建築学者)、

田中 里沙(事業構想大学院大学学長/宣伝会議取締役副社長)、

福里 真一(ワンスカイ/クリエイティブディレクター/コピーライター)、

矢野きよ実(パーソナリティ/書道家)

# 愛知・名古屋大会の実施競技を発表!

このたび、アジア・オリンピック評議会(OCA)に提出する大会開催基本計画を作成しました。

この計画は組織委員会が開催準備・運営を行う上で必要となる各分野における基礎的な事項と、大まかな準備スケジュールを示した基本的な計画であり、愛知・名古屋大会の実施競技として、オリンピック中核28競技が盛り込まれました。

今後、パリオリンピック追加競技やアジア競技大会ならではの競技、組織委員会提案競技、OCA提案競技を順次決定する予定です。



©2018 INASGOC

バスケットボール(女子) 日本vs中国

第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)

## 今回計画に盛り込まれたオリンピック中核28競技

水泳、アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボクシング、カヌー・カヤック、自転車競技、馬術、フェンシング、サッカー、ゴルフ、体操、ハンドボール、ホッケー、柔道、近代五種、ボート、ラグビー、セーリング、射撃、卓球、テコンドー、テニス、トライアスロン、バレーボール、ウエイトリフティング、レスリング

## 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)のエンブレムデザインを募集します!



第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)のエンブレムデザインを募集します!この度決定したスローガン(表面に掲載)を踏まえて、大会の象徴にふさわしい創造性豊かな作品を制作してください。

■締切:2019年11月20日(水)正午

■賞金:50万円(税込)

■結果発表時期:2020年3月(予定)

■ホームページ

<https://www.ag2026-emblem.org>



## 大会に関する情報は公式SNSをチェック!

### Twitter

愛知・名古屋2026アジア競技大会  
@AsianGames\_2026



### Instagram

愛知・名古屋2026アジア競技大会  
asiangames\_2026



### Facebook

愛知・名古屋2026アジア競技大会  
@AsianGames2026AichiNagoya



## 一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会

お問い合わせ

メール/ainagoc@aichi-nagoya2026.org

電話/052-951-2026 (受付時間:平日9:00~17:00)

スポーツクリ

